

所長が語る！

令和2年12月

千葉森林管理事務所 武藤 敏雄

千葉森林管理事務所は、千葉県全域で国有林約7千8百haを管理しています。その多くは房総半島の南部に位置していますが、一部は銚子市犬吠埼から南房総市などの海岸線に沿って、潮害防備や防風保安林として点在しています。

千葉県では、昨年9月に千葉市付近に上陸した令和元年房総半島台風（台風15号）により、国有林を含めた多くの森林に甚大な被害がもたらされました。今回は、その対応状況などについてご紹介します。

令和元年房総半島台風が最大風速40m/sの「強い」勢力で令和元年9月9日（午前5時前）に千葉県千葉市付近に上陸しました。関東に上陸したものとしては過去最強クラスの台風であり、その被害は甚大で激甚災害に指定されています。

千葉県千葉市で最大瞬間風速57.5m/sを観測するなど、多くの地点で観測史上1位を記録する暴風となり、送電塔や電柱が倒壊し、送電線が倒木などの被害を受け大規模な停電や断水が発生し大混乱となりました。



風倒木の中には、千葉県の子武地域で主に造林されている「サンプスギ」のスギ非赤枯性溝腐病への対応が十分にできていないために被害が拡大したのではないかとの報道もあり、千葉県と林野庁は合同で森林被害等緊急調査を実施し、風倒被害の発生形態は多様であり、溝腐病に罹病していた



ことが倒木の発生源とは必ずしも言えないとの調査結果を得ています。しかし、被害木については優先度を考えつつ除去していくことが必要とされ、大量に発生した風倒木の処理は今も続いています。

台風通過後は、ただちに千葉県の災害対策本部や市町等へ職員を派遣し被害情報の共有等を図るとともに、要請に応じて合同でドローンを活用した現地調査を実施し、早期の被害状況の把握に協力しています。また、関東森林管理局によるヘリコプターでの森林被害調査を千葉県と



合同で実施し、広範囲での風倒木の発生や小規模な山腹崩壊地を確認しています。

千葉県君津市の久留里城址の城郭跡では、南西の急斜面が強風と豪雨により表層崩壊と風倒木が発生しました。崩壊地の上部は史跡（埋蔵文化財）であることから、できる限り残存する樹木を保全しつつ斜面を安定させる工法

を採用し、下部には在来の草本や木本類が侵入しやすいよう、植生基材に種子を混入しない生育基盤材を使用した法枠工により、森林景観に配慮した復旧工事を実施しています。



千葉県鴨川市の小湊地区においては、豪雨により急斜面の山腹崩壊が発生し、直下にあった公衆トイレを倒壊させる災害が発生しており、崩落土砂の流出防止策を早急に実施するとともに、法枠工の実施にあたっては、工事箇所直下の民家に工事の影響を及ぼさない十分な配慮を行いつつ工事を実施しました。



当所においては、これら以外にも山腹崩壊箇所の復旧工事等を実施しており、すべての工事において関東森林管理局東京事務所から技術指導等をいただきながら適切に進めているところです。しかし、県内で大量に発生した風倒木処理が完了するにはまだまだ時間を要する見込みです。

千葉県銚子市には、関東最東端の犬吠埼の海岸線に沿って国有林が約30haありますが、この国有林を含めた銚子市全域が「銚子ジオパーク」として認定されています。

林野庁では、国有林野を企業などによる社会貢献活動や森林の保全等を目的とした様々な場として提供する



ため「協定締結による国民参加の森林づくり」を推進しており、銚子市のこの国有林においては、「銚子ジオパークの森」として、銚子ジオパーク推進協議会と令和元年7月に協定を締結し、「ジオサイト」のひとつとして市民や観光客に親しまれる森林となるよう、定期的な美化活動により景観や環境を保全し、教育活動のフィールドとして活用されています。

南房総市には、岩井海岸に沿って約1.5kmに渡りクロマツと広葉樹の国有林があります。面積は3.5haと小さいですが、古くから防風保安林として地域住民の生活と関わりの深い森林となっていました。

この国有林を「久枝海岸の森」として南房総市久枝区長並びに一般社団法人日本森林林業振興会東京支部長と令和2年3月に協定を締結し、保安林機能の維持・増進や景観保持の為の整備等の活動が行われています。



協定締結による国有林での活動については、この他に以前から千葉県森林インストラクター会による「FIC 君津の森」やガールスカウト千葉市協議会による「スカウトの森」など、各団体等により積極的に森林環境教育や森林ふれあいの場とした活動が行われています。



なお、「スカウトの森」は平成 13 年に協定を締結し、君津市の国有林 1.45ha においてガールスカウトのメンバーにより地拵えから作業を開始し、現在ではスギと広葉樹からなる美しい森林づくりを成し遂げられたこ

とから、平成 31 年に林野庁長官から「国民の森林づくり推進功労者表彰」の感謝状が贈られており、今後も森林環境教育の場等として活用していくこととなっています。



近年、各地で大雨による洪水などの自然災害が多発しており、地球温暖化の進行に伴い、台風などの熱帯低気圧の強さが増す可能性が指摘されているところです。

森林の有する山地災害防止機能等により国民の皆様の安全を守ることは大変重要でありますので、当所におきましても、国土強靱化や地球温暖化防止等に貢献するための森林整備や治山対策等の取り組むとともに、地域の皆様と協力して森林を守り、地域に貢献できる森林づくりを進めてまいります。